

経営比較分析表（令和5年度決算）

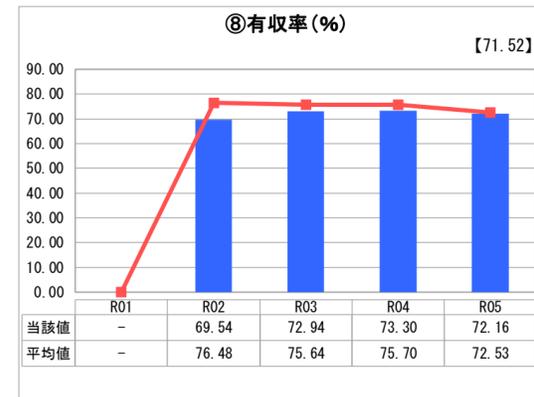
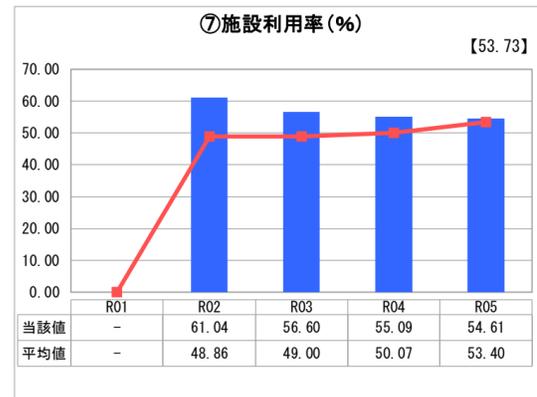
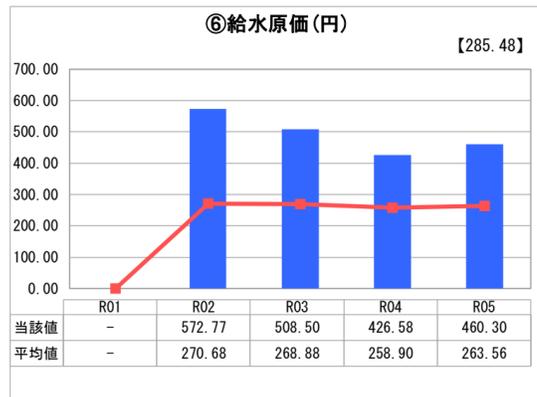
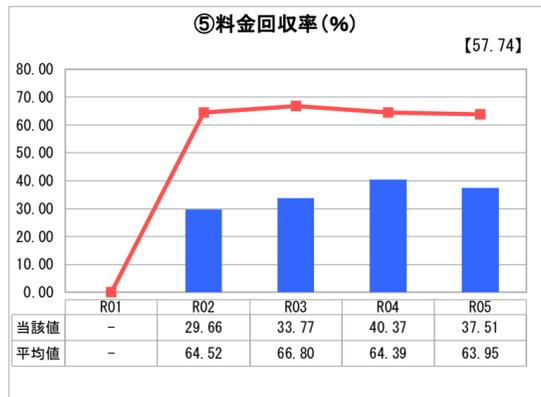
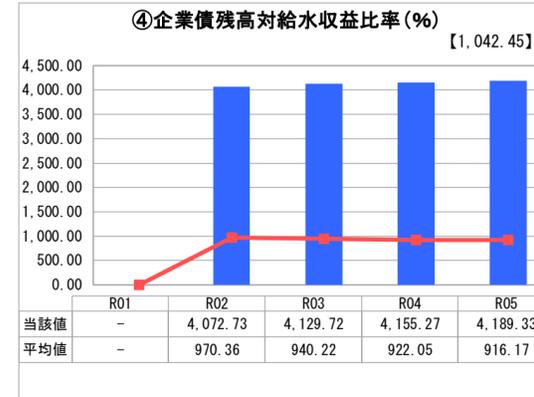
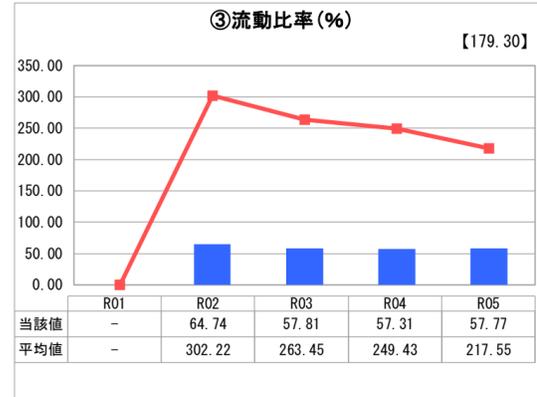
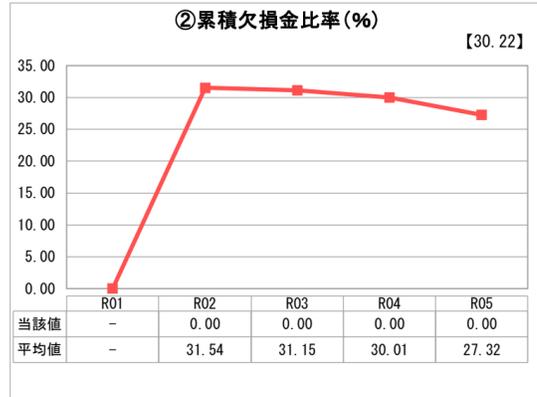
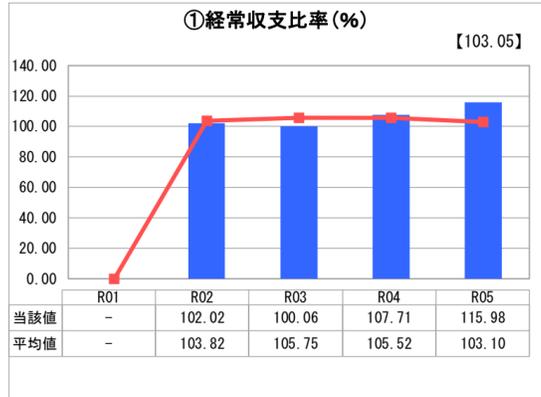
山口県 山口市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	25.94	2.04	3,149	

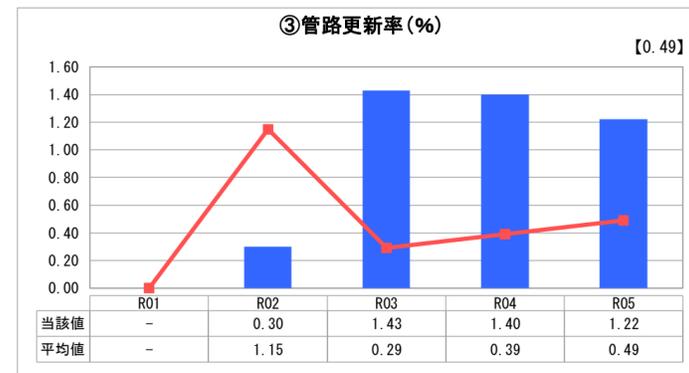
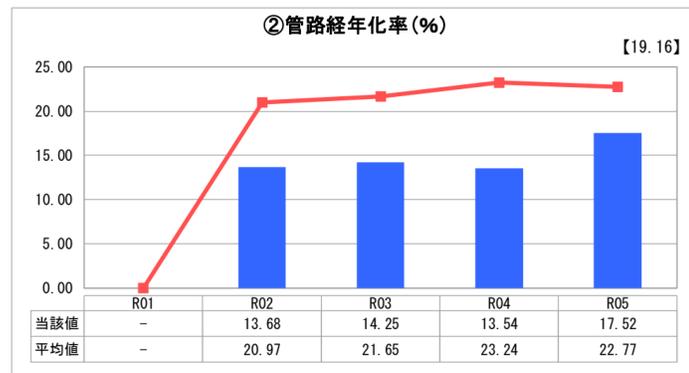
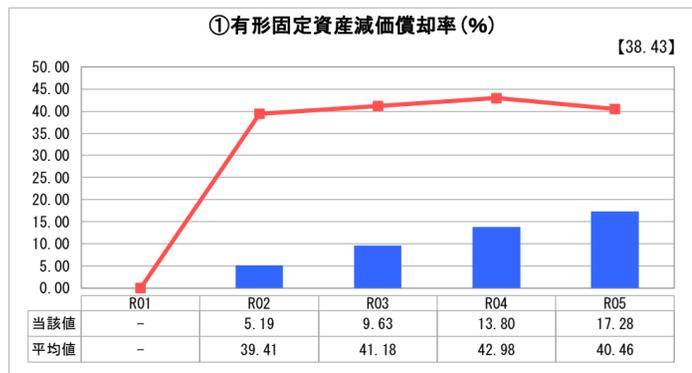
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,494	1,023.23	183.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,802	69.60	54.63

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を超えているが、一般会計からの基準外繰入を行わなかった場合は100%を下回っている。
 ② 累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率は、100%を下回っており、これは負債として繰入金金を財源とする企業債償還金が含まれていることが大きな要因であると考えられる。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、老朽施設の更新を進めていることから増加しており、類似団体平均値より高くなっている。
 ⑤ 料金回収率は、100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益で賄えていない。また、類似団体平均値より低くなっており、これは類似団体の中でも給水人口密度が低いことから維持管理費が割高になっていることが要因であると考えられる。
 ⑥ 給水原価は、類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも給水にかかる費用が高くなっている。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも施設を効率的に使用できていると考えられる。しかしながら、簡易水道は施設規模が小さいため施設能力の余裕がなく、漏水事故時や渇水時において安定供給に課題を抱えている。
 ⑧ 有収率は、類似団体平均値より低くなっている。施設能力に余力が少ないことから、効率的な給水に向けて漏水を抑制していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、老朽施設の更新を進めていることから、類似団体平均値より低くなっていると考えられる。
 ② 管路経年率は、増加しているものの、類似団体平均値より低くなっている。
 ③ 管路更新率は、計画的な管路更新を行っていることから、類似団体平均値より高くなっていると考えられる。

全体総括

簡易水道事業は、事業区域が山間部に立地する地形的な要因や、給水面積は広いものの給水人口密度が低いため、配水管等の施設効率が悪く維持管理費等が割高になり、料金収入のみで採算を取ることができない状況であることから、一般会計からの繰り入れにより経営を成り立たせている。
 今後は、人口減少が進むことが見込まれることから、将来にわたって安全な水道水を安定供給するため、水道施設の再編に向けた施設整備に着手するなど、経営戦略の取り組みを着実に進めていく。